

# 音楽科学習指導案

学 級 : 1 年 2 組 2 9 人  
場 所 : 音 楽 室  
指 導 者 : 教 諭 神 園 律 子

## 1 題材名 「混声合唱へのステップ」

教材 混声三部合唱「未来へのステップ」 松井孝夫作詞・作曲  
混声三部合唱「歌おう OH MY HAPPINESS!」 高橋浩美作詞・作曲

## 2 題材について

### (1) 教材観

本題材で使用する2曲は11月に行われる合唱コンクールで発表する曲である。課題曲「未来へのステップ」には、新しい仲間を迎え、期待に溢れる気持ちを明るく希望に満ちた歌声で表現する「歓迎の歌」(ウエルカムソング)になればという作曲者の思いがある。曲調もリズムに乗りやすく、親しみやすい。また、クラスで選んだ自由曲「歌おう OH MY HAPPINESS!」も明るくリズムに乗りやすい曲調である。途中で手拍子が入り、クラスがまとまって、みんなで歌う楽しさを感じることができる。思春期を迎えようとする揺れ動く気持ちを上手に乗り越えて、仲間とともに元気に歌って欲しいという作曲者の思いがある。今回は1年生にとって初めての混声三部合唱の取組になる。

### (2) 生徒観

本学級の生徒は、中学校生活にも慣れ、部活動や学習、そして学校行事などを先輩から学び、充実した学校生活を送っている。本校の大きな行事の中でも、2学期に迎えた体育大会、そして合唱コンクールは生徒にとっても一大イベントで、活気ある学校生活を形作っているといっても過言ではない。その中でも1年生は初めての行事で、戸惑いながらも意欲的に取り組んでいる。合唱活動においては、1学期にハーモニーづくりを少しずつ取り入れてきた。特に本学級は男子がとても元気があり、パワー溢れる生徒が多い。歌うことに関しても積極的で、変声期を迎えていても気にせずどんどん歌う姿が見られる。逆に女子はおとなしい生徒が多く、積極的に自分から声を出す姿は見られない。声量のバランスはあまりよくない。11月14日に行われる合唱コンクールを機会に、お互いの声部を聴き合い、互いのよさを引き出す活動につなげたい。そして合唱の喜びを共有し、美しい音楽づくりを目指していきたい。

### (3) 指導観

2学期は合唱コンクールに向けて、1年生にとって初めての本格的な合唱活動に入る。1学期にオリエンテーションで発声づくりの基礎を行った。ここでは、ソプラノ、アルト、男声のパートの仕組み、発声や体の使い方などの基本的な指導をする中で、声を出す喜びや楽しさなどを味わわせた。しかし、発声やハーモニーなどの体得までは至っていない。また、男子は変声を迎えていない生徒、変声を迎えたばかりの生徒、変声途中の生徒と様々である。限られた時間の中、個別で指導していくのは難しいが、変声にも配慮しながら指導していく手立てが必要である。発達段階に応じながらも男声パートの豊かな響きを目標に持たせ、混声三部合唱の響きを感受させながら歌わせたい。今回、合唱コンクールを通して楽曲を仕上げる楽しさを味わわせたり、ハーモニーの美しさを習得させたりすることで、混声合唱のステップにしていきたい。

## 3 題材の指導目標

- 声部の役割と全体の響きのかかわりに興味を持たせ、意欲的に歌唱活動に取り組ませる。
- 歌詞の内容や曲想の役割を感受し、その曲にふさわしい音楽表現を工夫させる。

- 音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，形式，構成などの音楽を形づくっている要素を知覚し，それらを生かした曲にふさわしい音楽表現の技能を身に付けさせる。

#### 4 題材の指導計画

題材名	時	指導の流れ	言語活動(☆)・ICT活用(◎)の工夫
混声合唱へのステップ	1	○ 楽曲のイメージマップを活用し，楽曲の理解を深めさせる。 ○ 範唱を聴いて曲のイメージをつかませる。	☆ 楽曲イメージマップを使い，歌詞の内容や音楽を形づくっている要素の理解を深める。 ◎ 楽曲イメージマップを書画カメラで写しだし，学習のポイントをつかむ。
	2	○ 音程・リズムをつかむためのパート練習を行う。	◎ 範唱CDを聴いて，パートの旋律をつかむ。
	3	○ 他のパートを意識させ，パートの役割を考えさせて歌わせる。	☆ パートリーダーを中心に，練習活動を話し合いながら進める。
	4 (本時) 5	○ 曲の構成や速さ，強弱の変化を生かした表現を工夫させる。	◎☆ 自分たちの演奏を録音し，練習課題を話し合う。 ◎☆ グループで話し合った学習課題を書き込み，写し出す。
	6 7	○ 歌詞の内容や，曲想を生かした表現の工夫をさせる。	◎ 範唱CDと演奏した録音を聴き比べ，合唱を練り上げる。 ☆ よりよい合唱にするための表現の工夫を出し合い，合唱を練り上げる。

#### 5 本時の実際（4/7）

##### (1) 主題名 「曲想を生かした表現の工夫」

##### (2) 学習目標

- 混声三部の響きに関心を持って，意欲的に歌唱活動に取り組むことができる。
- 歌詞の内容や，曲の構成・曲想の変化を理解して，それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を工夫しようとすることができる。
- 音色，リズム，速度，旋律，強弱などの音楽を形づくっている要素を理解し，それらを生かした表現の技能を身につけることができる。

##### (3) 研究仮説に沿った授業設計の視点

視点ア 楽曲イメージマップを活用し，よりよい合唱づくりのための意見交換や楽曲理解，練習課題の充実を図るなどの言語活動の場を設定する。(☆：言語活動)

視点イ 学習課題を明確にするためにタブレットPC活用などのICT活用の場を設定し，生徒の興味を高め，練習の促進につなげる。(◎：ICT活用)

(4) 評価規準と生徒の姿

観点	評価規準	生徒の姿
音楽への関心・意欲 ・態度	合唱の魅力や美しさを味わい、合唱コンクールへ向けて意欲的に歌っている。	合唱コンクールへ向けて学級で協力して歌おうとする姿が見られる。
音楽表現の創意工夫	速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して、表現を工夫することができる。	速度や強弱の働きに気付き、曲想を工夫しようとする姿が見られる。
音楽表現の技能	曲の表情や雰囲気を感じ取り、曲想を生かして歌うことができる。	歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現をしている。
鑑賞の能力		

(5) 授業の展開

(☆：言語活動，◎：ICT活用)

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	仮説実証の視点
導入	10分	一斉	1 発声練習をする。 2 「未来へのステップ」を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体をほぐし、歌う準備をさせる。</li> <li>前時を想起させながらのびのびと歌わせ、学習する雰囲気をにつくらせる。</li> <li>演奏を録音する。</li> </ul>	
展開	2分	一斉	3 本時の目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の目標を理解させる。</li> </ul>	<p><b>視点イ</b></p> <p>◎ 楽曲イメージマップを見ながら、曲想の工夫の視点を確認する。</p>
	10分	グループ	<p>4 録音した演奏を聴き、パートで課題を出しあう。(反応例)</p> <p>・ <i>f</i>と<i>p</i>の強弱をはっきりと歌おう。 ・ 「ステップ アップ」をはずませよう。 ・ ハーモニーのバランスを考えて歌おう。</p>	<p>録音を聴いて、気になるところを楽譜にチェックしながら、イメージマップにメモしましょう。</p> <p>・ 音楽を形づくっている曲想について、イメージマップをもとに考えさせる。</p>	<p><b>視点ア</b></p> <p>◎☆ 楽曲イメージマップを活用して、意見を出したり課題を出し合ったりする。</p>
開	6分	一斉	5 パートリーダーが課題を発表する。	<p>楽曲イメージマップに書き込んだ課題を発表してください。</p>	<p><b>視点ア,イ</b></p> <p>◎ ☆ 楽譜を写しだし、課題を書き込んだところを発表し合う。</p>

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	仮説実証の視点
展開	17分	一斉	<p>6 出てきた課題をもとに全体練習をする。</p> <p>(反応例)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リズムに合わせて、言葉をはっきりと歌う。</li> <li>・ 軽やかにはずんで歌う。</li> <li>・ 互いの声を聴きながら、バランスを考えて歌う。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 練習をしながら課題を確認させる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どんなことに気をつけて歌えば良いのだろうか。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">視点ア</div> <p>☆ どのように歌ったら良いかを、言葉で表現させる。</p>
終末	5分	一斉	<p>7 本時の練習したところを振り返りながら、通して歌う。</p> <p>8 次時の予告を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 演奏を録音する。</li> <li>・ 課題の変容を確認しながら、本時のまとめをさせる。</li> <li>・ 本時のまとめを次時への意欲につなげさせる。</li> </ul>	

#### (6) 検証の方法

視点ア 楽曲イメージマップを活用して、意見を出したり課題を記入したりする姿を観察により確認する。

視点イ タブレットPCを活用し、課題を意識して表現しようとしているかを観察により確認する。